オオバライチゴ（バラ 科） **兵庫県：Bランク**

Rubus croceacanthus Lev. **環境省：－**

種の概要

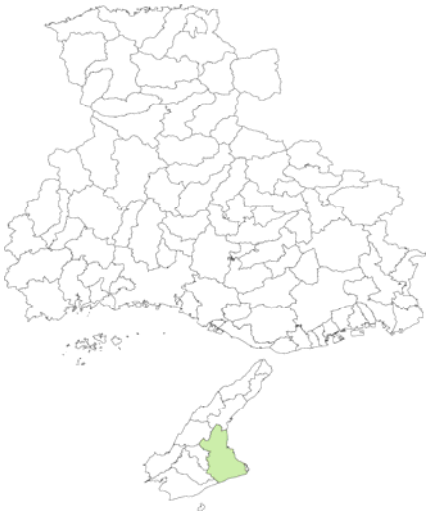
落葉小低木、茎は傾斜する。茎や枝には鉤刺を疎生し、長さ0.5-1㎜の暗紅色の短腺毛を密生し、軟毛もすこしある。葉は3-5(-7)小葉よりなり、茎の上方につくものは3小葉ないし単葉になることが多い。小葉は薄く、不斉欠刻鋸歯縁、羽軸にも腺毛が多く、刺も軟毛もある。頂小葉は卵形ないし披針形、鋭頭または鋭尖頭、長さ2-9cm、托葉は細い。花枝は短く、3-4葉をつけ、頂生の1花と上部葉腋に1花ずつ、つごう1-3花をまばらにつける。小花柄は長く、短腺毛を密生する。花は白色、径2.5-3cm、花期は3-4月。萼の背面には腺毛がある。萼裂片は尾状に伸長し、花後に反り返る。

国内分布

本州(房総・伊豆・紀伊半島および山陽地方)・四国・九州・琉球

県内分布

洲本市



選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
				○		○

特記事項

県内の産地は局限される。2009年版での追加種。

保護上の留意点

生育地の保全